

様式(細則 5-2)

平成 年 月 日

浜田市議会議長 川神 裕司 様

議員名 岡野 克俊



## 調査研究活動報告書

下記のとおり調査研究のため(視察・研修)を(実施)受講)したので、その結果を報告します。

### 記

1. 期 間 平成 29 年 6 月 5 日 (月) から  
平成 29 年 6 月 7 日 (水) まで
2. 視察・研修内容
  - ①網走市 東京農業大学オホーツクキャンパス(網走市)  
「オホーツクものづくり・ビジネス地域創成塾の取組について」  
(説明) 副学長 食品香粧額  
渡部 俊弘 教授  
生物産業学部 地域参議用経営学科  
菅原 優 准教授
  - ②網走市郷土博物館 (説明) 米村衛 館長
  - ③網走市モヨロ貝塚館 (説明) 米村衛 館長
  - ④網走市オホーツク流水館 (説明) 水島流水館ガイド
  - ⑤網走刑務所「刑務所と地域の関係・役割」  
(説明) 案内：麓学 網走刑務所長
  - ⑥博物館 網走監獄 (見学)
  - ⑦北海道立北方民族博物館 (説明) 館内ガイド
3. 参加者 岡野克俊、牛尾 昭、芦谷英夫、小川稔宏、上野 茂、  
岡本正友、野藤 薫、江角敏和
4. 調査経費 72,641円(詳細は別紙のとおり)
5. 調査研究活動の概要 別紙のとおり



## 調査内容

今回の視察の目的は、島根あさひ社会復帰促進センターが、開設 10 年を迎えるにあたり、社会復帰に向けて取組が進んでいる、網走刑務所の先進事例の研修と同一市内に 5 館も博物館が存在している。

それぞれの館の実態把握と公共施設の在り方。浜田市と同じような市制構成、農業と漁業、刑務所と大学が各 1 か所という非常に類似性の高い都市構成の比較研究がテーマである。

### (1) 東京農業大学オホーツクキャンパス

東京農業大学オホーツクキャンパスの訪問は、久保田市長の紹介で「農と観光そして 6 次産業化」というテーマで、著名な黒滝秀久にひとコマ 90 分の指導を受ける予定であった。

急きょ東京出張となり、副学長のあいさつと代わりに、菅原准教授の講義を受け質疑応答をした。なお東京農業大学オホーツクキャンパスの第 5 第学長は三浦さんで三隅町のご出身で三浦ヨシタケ氏の叔父にあたるそうである。

### (2) 網走刑務所

網走刑務所の視察は、同僚上野議員のお世話で島根あさひ社会復帰促進センターの所長さんを介して承諾を得た。

同刑務所は東京ドーム 350 個分の広さがあり、日本一の広さを誇る。まず、所長の千堂で所内全域の参観をして意見交換会に移った。網走刑務所の現状は、平均入所回数 4.3 回、最高 17 回目の入所者を抱え、定員 1600 位のところ、現在 820 名という実数であった。

我々の当初の目的の社会復帰の現状についての質問は島根あさひ社会復帰促進センターのような初犯の受刑者を扱っておらないということ、出所するとほとんど本土へ帰るのでデータがないとの返事があった。予定時間を 1 時間オーバーしたが熱心に対応していただいた。

### (3) 網走市立強度博物館

早朝から、網走市立強度博物館において、山田議長のあいさつがあり、その後、議会事務局次長の細川さんの随行により説明を受けた。

この博物館は網走市で最も古く昭和 11 年 11 月の開館で、年間管理費が 811 万円、入居者が平成 28 年の実績が年間 5,650 人である。

#### (4) モロヨ貝塚館

米村喜男衛氏によって発見され、アイヌ民族の前にモヨロ人が生活をしており古代オホーツク文化圏が形成され、オホーツク海を取り巻くエリアにおいて、1300年前に生活圏があり、その遺跡群である。

現在は発見者の息子さんが館長を兼務しておられる。施設は昭和40年開館で、平成25年に改築開館している。総工費は51,600千円で市の負担は21,400千円である。

#### (5) モロヨ貝塚館

オホーツク流氷館は、改築開館してまもなく2年を迎えるようで、総工費16億円で指定管理中、詳細は後日資料を送付とのことであった。ここで細川次長は帰庁。

#### (6) 網走監獄博物館

網走監獄博物館の視察は時間が遅れ説明者がおらず、地図を片手に持ったの参観となった。この博物館は、8棟の重要文化財と6棟の登録有形文化財からなり、2016年に国の重要文化財に登録されている。

実質の収支はわからないが、麓所長によりと、5月の零球で2万人が入場したようであり、入場料は1人1,080円である。その他、監獄食堂やおみやげ店などが情実していて順調に見える。

#### (7) 北海道立北方民族資料館

この施設は平成3年開館で、当時の網走市長が奔走して、市立強度博物館の資料3,000点を寄贈して道立になったとのことである。

なお、限られた時間と指定管理者の立場から収支の詳細は聞き取りができなかった。

#### 【所管】

東京農業大学オホーツクキャンパスでは、第6次産業などの説明をいただいた、浜田市でも「地産地消条例」の制定を行っており実状と対策を研修することができて大変よかった。

また、多くの博物館や資料館を見学させていただきました。それぞれ特色のある展示物、展示内容であった。

最後に今回の研修に対し、多忙中にもかかわらず、快く視察に対応していただいた関係者の方々に深く感謝し、報告と致します。